

広徳寺通信

Letter from Koutokuji Temple 第45号



三木露風「風と形象」より

春の大自然の息吹の中に心をゆだねると、その緑の中で生かされていく自分に気づきます。

風は波となりしか、波立ちたれば、風の吹き送りし、木と花との種子は、海を越えて陸地に落ちて、そこに生へ、花を咲かせり。

されば風は、木の中にあり、又花の中にあらるか。

風の過ぎ行くところ、海に入りしか。かの風ゆゑに、波立ちたれば、風は波となりしか。風の吹き送りし、木と花との種子は、海を越えて陸地に落ちて、そこに生へ、花を咲かせり。

婦人会よりお知らせ

お花の種植えをしませんか？

日時：5月の天気の良い日

※開催前に、参加希望者にお電話します！

◆来月、5月中旬頃、お天気の良い日に境内に置くプランターの種植えを婦人会で予定しています。お寺に美しい花を咲かせませんか？天候に左右されますので、参加希望の連絡を頂いた方のみにお寺より3日程前に連絡致します。皆様のご参加お待ちしております！！



◀去年植えたプランター。お寺の境内を彩りましたよ！！

写経の集いがリニューアル！

◆夕方の1時間。写経のみで、「般若心経」の他、短いお経からもスタートできます。「観音偈」にも挑戦できますよ！



みのもんたの講演会

▲渋谷洋子さん寄贈の手作り造花。ありがとうございます！！

みのもんた氏「60歳からの青春」

日時：6月1日(日)午後1時開場

場所：函館市民会館大ホール

会費：前売 1,500円 当日 1,800円



◆テレビで有名なみのもんた氏が函館で講演をしますよ！「函館南無の会」という仏教団体の20周年行事です。興味がある方は、前売りのチケットがありますので、お寺にお電話下さい！

主催：函館南無の会



曹洞宗
慈眼山

広徳寺



〒049-0162 北海道北斗市中央 2-3-14

TEL 0138-73-2032 FAX 0138-73-5500

✉ info@jigenzan.org www.jigenzan.org

梅花流詠讃歌

今月の開催日は…

10日・17日・24日・31日



日時：毎週土曜日
午後1時半～3時半
子どもから大人まで！

ご詠歌はどこか懐かしくてやさしい。お唱えすれば、安らかなこころが生まれ、新たな感動がわいてきます。わいわいとなごやかな会ですよ！

お寺で朝ヨガ！

5月15日(木)



寺ヨガ

日時：毎月第③木曜日
朝5時45分～6時45分
参加費：100円

たまには早起きして、スッキリとした一日をはじめませんか？坐禅をして心をととのえ、ヨガをして体と呼吸をととのえます。ご予約下さい！！

寺こや坐禅塾

5月18日(日)



日時：毎月第③日曜日
夕方4時～5時
参加費：100円

心の荷物をいったんリセット。お寺の静寂に心をゆだねてみませんか？ただ坐るだけ。イスもあります。終わって和尚さんからお話がありますよ。

写経の集い

5月11日(日)



日時：毎月第②日曜日
午後3時～4時
参加費：無料

お寺の静寂のなか、写経をしてみませんか？自然と心が落ちつきますよ。終わって、本堂で坐禅を。住職によるご詠歌が荘厳に響いてきます。



第38回 「家族葬とは」

最近、弔問者を拒み「お葬儀をカンタンに」という向きがあるようです。核家族化が進む中、また、地域の間人関係が希薄になっている今日では仕方がないのかもしれませんが、しかし、「家族葬」とうたわれ、身内だけで済ますお葬儀で失われてしまうものはなんなのでしょうか。

「家族葬」とは

まず初めに知っておかなければならないのは、元々「家族葬」というお葬儀の仕方があるわけではないということです。世にいう「家族葬」は、少人数で執り行いたいというだけで、仏教としての内容のあるものではありません。最近では経済的にも人間関係もカンタンに済まそうとする向きに合わせてできた新造語に過ぎません。

死を思うことは生を大切にすること

地域社会との繋がりがなく、独り身で暮らしていたので、結果として「家族葬」のような形で小規模でせざるを得ない場合があります。しかし、そうではない限り、誰のための葬儀かということをよく考えた上で、家族や友人の方々と普段から話し合っておく必要があります。自分の死を考えることは、今この命を大切に生きることへの第一歩です。

誰のためのお葬儀か？

お葬儀とは誰のために行うのでしょうか。もちろん、お葬儀とは亡くなった人を弔うためのものです。しかし、それだけではありません。家族はもちろんのこと、故人には生前親しくしていた友人・知人・ご近所の方がいます。働いていた人なら、職場の人もいるでしょう。その人たちが、故人に感謝の念を捧げ、皆と悲しみを共有できる場がお葬儀です。そういう場を作るにあたり、喪主は各方面に渡って短期間に準備をしなくてはなりません。そのお手伝いをしていたのが、元々は町内会の繋がりでしたが、今はそれを葬儀会社が代行しています。「家族葬」という名前に惹かれ、そういう煩わしさを避けようとする、故人への感謝・悲しみを伝える場を失われてしまいます。お葬儀を終えても自宅に弔問者が度々訪れることにもなり、かえってそれが無期限に続くことから、別の煩わしさを生むこととなります。世間体もよくありません。式場も小規模にすることから、お焼香に来た人が式場に入りきらず、迷惑をかけてしまうという例もあります。



先日リニューアルスタートした写経イベントに初めて参加してみました。実は、左利きの私。習字は大の苦手…小筆でお経を書くなんて無理無理!!と
思っていたのですが。

実際参加してみると、不安は吹き飛びました!まず小学生ぶりに墨を硯に擦る感覚が新鮮!そして苦手な小筆書きも、下書きに沿って書けばいいので難しくないし、上手い下手は関係なし。何より、一文字一文字、集中してただただ書くことが気持ちいいんです!筆先と半紙が触れる音だけが聞こえる静かな室内に、時折遠くで鳥の鳴き声が聞こえてきます。

一時間ちょっとの時間、あっという間でした!住職の「終わりにしましょう」の言葉で我に返り、気がついたら足のしびれがじんじん…(笑・イスもあります)貴重な楽しい時間を過ごすことができました!私たちと一緒に写経してみませんか?



◇鯉のぼりが空を泳いでいます!



今月の写真